

平成31年1月24日
四国地方整備局

『西讃で初開催』

四国内の風景街道パートナーシップが交流します！
～ 平成30年度 四国風景街道交流会の開催 ～

四国内の風景街道パートナーシップ(※1)の皆さんが香川県宇多津町内の風景街道登録ルート「うたづ今昔^{こんじゃく}ロマン街道^{かいどう}」を舞台に集い、うたづの古街^{こまち}と新都市を散策しながら風景街道の見どころを見学し、風景街道の魅力向上に向けた基調講演や活動報告を通じて交流を図ります。

(※1) パートナーシップ：各風景街道において活動する団体

交流会の概要

【日時】平成31年2月23日(土) 13:20～17:20(予定)

【場所】セント・カテリーナ(香川県綾歌郡宇多津町浜一番丁5-7)

交流会の内容(詳細は別紙1参照)

○第1部：現地見学

室町時代から町家文化を守ってきた古街と平成の若者文化を取り入れた新都市を散策して風景街道の見どころを見学

○第2部：基調講演・活動報告

【基調講演】

演題：「日本風景街道による”ひと・もの・こと”の交流」

講演者：NPO法人日本風景街道コミュニティ理事 原文宏氏

【活動報告】

報告①：若者が集う文化のまちうたづ実行委員会

報告②：うたづの町家とおひなさん実行委員会

(※2) 当日は取材可能です。取材希望がありましたら、下記問い合わせ先まで事前にご連絡をお願いします。

(※3) 交流会は無料でどなたでもご参加いただけます。(人数制限あり)

参加を希望される場合は下記問い合わせ先まで事前に申し込みをお願いします。

(※4) 風景街道の概要は別紙2・3をご覧ください。

本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト「No.3 美しい自然とおもてなしの心による「視国」観光活性化プロジェクト」に該当します。

<問い合わせ先>

四国風景街道協議会事務局(四国地方整備局 道路部 地域道路課内)

地域道路課長 石原 弘之(内線4611)

◎地域道路課長補佐 山本 崇(内線4612)

電話：087-811-8323(直通)

◎：主な問い合わせ先

平成30年度 四国風景街道交流会

～今年の舞台は『うたづ今昔ロマン街道』～

別紙1



◆開催日

平成31年2月23日(土)

13:20～17:10

◆プログラム

【第1部】現地見学(宇多津町内) 13:20～

◇宇多津の町並み(古街)

◇ゴールドタワー、臨海公園(新都市)

【第2部】基調講演・活動報告 15:30～

◇基調講演

「日本風景街道による”ひと・もの・こと”の交流」

NPO法人日本風景街道コミュニティ 理事

一般社団法人シーニックバイウェイ支援センター

代表理事 原文宏 氏

◇活動報告

報告①:若者が集う文化のまちうたづ実行委員会

報告②:うたづの町家とおひなさん実行委員会

◇意見交換

◆会場

セント・カテリーナ(香川県綾歌郡宇多津町浜一番丁5-7)

※車でお越しの場合は会場に駐車場(無料)があります

※高松駅～宇多津駅～会場間は無料バスを運行します

◆受付

(時間) 12時50分～

(場所) セント・カテリーナ 玄関ホール

※参加は無料ですが事前に申込が必要です

◆主催

四国風景街道協議会 事務局

四国地方整備局 地域道路課

(電話) 087-811-8323

(メール) skr-shikoku-fukeikaido@mlit.go.jp

四国風景街道ホームページ

<URL> <http://www.skr.mlit.go.jp/road/shikoku-fukeiail/>

－第1部－



現地見学では・・・

うたづの古街や新都市を散策し

風景街道の見どころを見学

－第2部－



基調講演では・・・

風景街道の先進的な取組が進む

北海道の活動事例なども交えながら

ご講演いただきます

会場位置図



四国風景街道交流会の概要

参加：無料
(申込み必要)

四国風景街道交流会

四国風景街道は、道を舞台に多様な主体による協働のもと、景観・自然・歴史・文化等の地域個性を活かした国土景観の形成を図り、観光の振興や地域の活性化に寄与するものです。

また、交流会は平成19年度より舞台を変えながら毎年開催しており、各風景街道の見どころの見学や、活動報告・基調講演を通じて活動団体（パートナーシップ）間の交流を図ることを目的としています。

うたづ今昔ロマン街道

今年の舞台となる「うたづ今昔ロマン街道」は、地域活動団体・地域住民等が活動主体となって、「うたづ今昔ロマン街道推進協議会」を組織し、平成27年3月に「日本風景街道」に登録されました。

平成の若者文化を取り入れた「新都市」と室町時代から町家文化を守ってきた「古街」を文化・交流資源として活用し、町の活性化を誘引することで、新都市と古街の整備・保全、イベント開催など、さまざまな活動を行っています。



新都市



古街

【第1部】現地見学

うたづの古街を散策しながら、風景街道の見どころを見学していきます。また、古街の見学後は新都市に移動し、ゴールドタワーへの登頂やうたづ臨海公園では復元塩田を見学します。

「こめっせ宇多津」



昭和11年に竣工した農協倉庫を改修したもので、昔この倉庫が米蔵として利用されていました。現在は、コミュニティ施設として利活用されています。

「古街の家」



古民家をリノベーションした一棟貸しのまちづくり拠点施設。明治元年と昭和5年に建てられた町家を古民家再生のエキスパートとして知られるアレックス・カー氏の監修で改修。

「ゴールドタワー」



ゴールドタワーの最上階からは宇多津町の古街と新都市をそれぞれ一望することができます。

【第2部】基調講演・活動報告

基調講演では、日本風景街道の中でも先進的な取り組みが数多く進められている北海道シーニックバイウェイの活動事例を交えて、NPO法人日本コミュニティ協議会理事、一般社団法人シーニックバイウェイ支援センター代表理事の原文宏様にご講演いただきます。

また、活動報告では、「若者が集う文化のまちうたづ実行委員会」と「うたづの町家とおひなさん実行委員会」の2団体より、それぞれの活動状況についてご報告いただき、参加者による意見交換を交えながらさらなる交流を深めます。

【講師の経歴】原 文宏（はら ふみひろ）氏

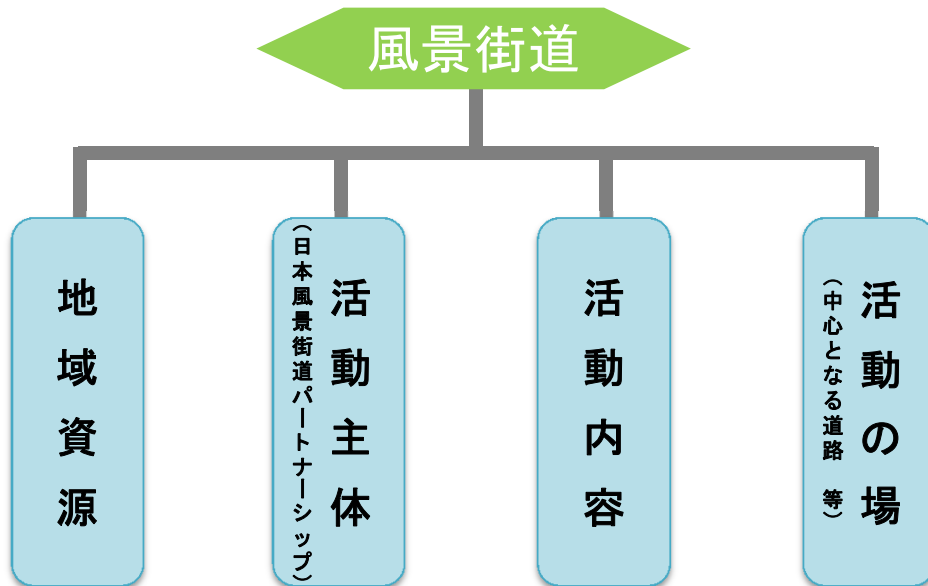
「シーニックバイウェイ北海道」には構想、準備段階から参画。現在は、シーニックバイウェイ北海道の活動団体が実施する景観、観光、地域づくり等の活動を支援されています。また、NPO法人日本風景街道コミュニティ理事として、全国的なネットワークづくりのための「日本風景街道大学」の企画・運営や、「サイクルツーリズム」「シーニックマルシェ（互産互生）」検討委員会で調査研究活動にも従事されています。



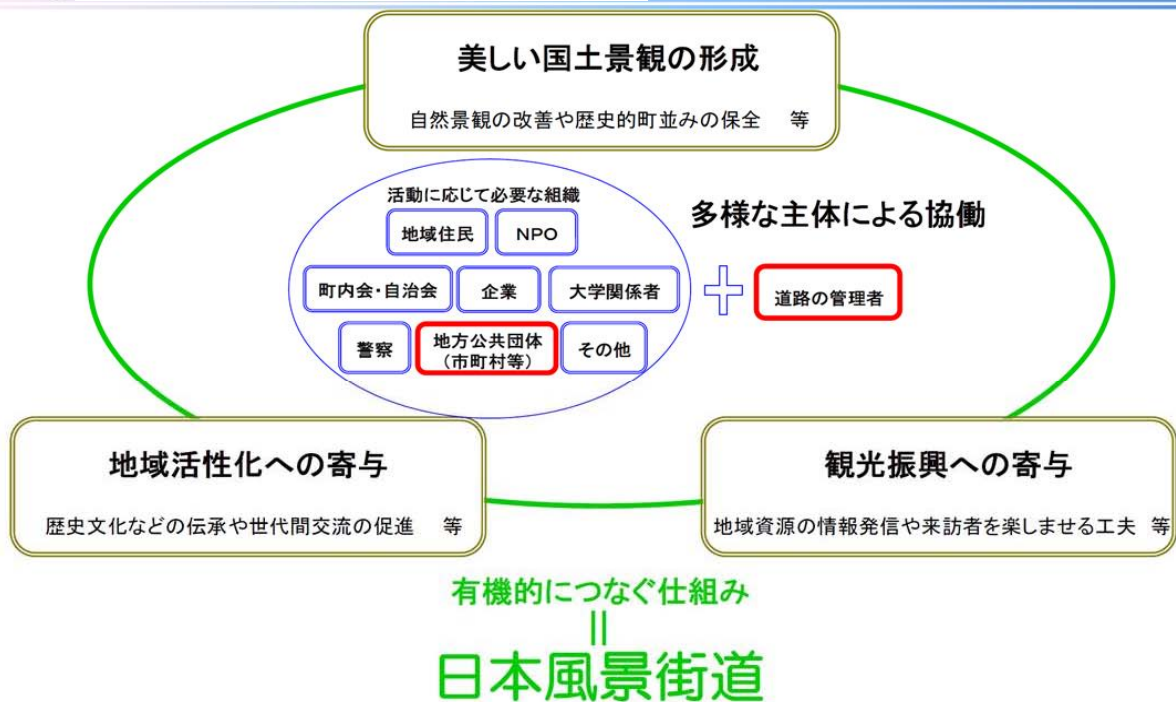
日本風景街道とは

日本風景街道とは、国土文化の再興に向けて、文化資源の保存や保護、活用だけでなく、美しい国土景観の形成、地域活性化や観光振興を有機的につなぐものであり、道を舞台に、多様な主体の協働により行われるものです。

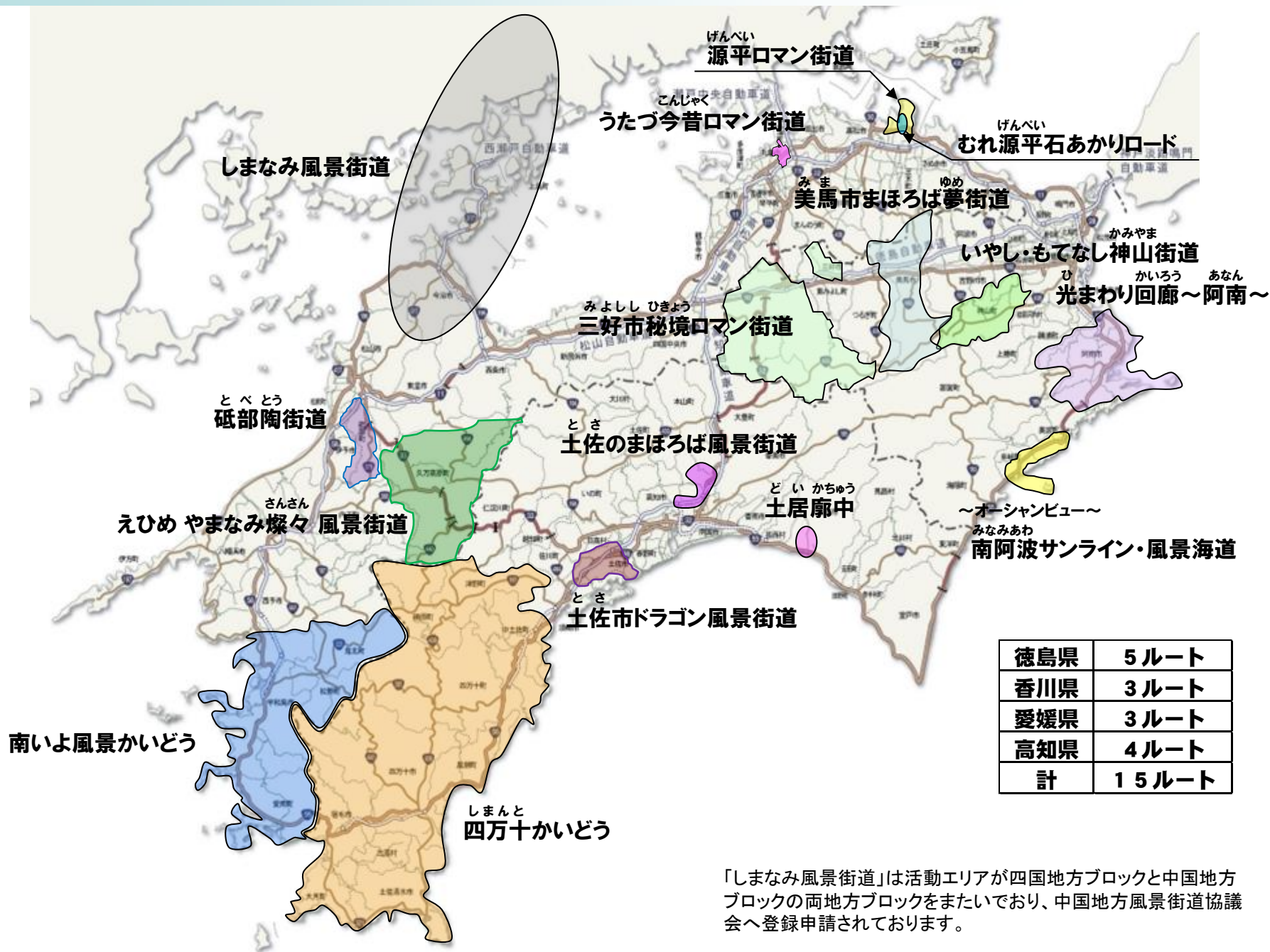
また、日本風景街道は、「地域の資源」と「活動する人たち」、「活動内容」、「活動の場」から構成されるもので、それらを総称して「風景街道」といいます。



日本風景街道のコンセプト



〔道を舞台に地域ならではの景観、自然、歴史、文化、体験・交流や施設・情報を活かした活動〕



「しまなみ風景街道」は活動エリアが四国地方ブロックと中国地方ブロックの両地方ブロックをまたいでおり、中国地方風景街道協議会へ登録申請されております。